



## 船内向け自主改善活動（W I B）講習会を開催しました

船員の災害発生状況は、昭和42年度と平成26年度を比較すると、災害は約1/4弱に減少していますが、最近の減少率は横ばいが続いています。陸上労働者全産業と全船種を比較すると、陸上の約4倍も発生しており、国土交通省では、死傷災害の防止に向けた取り組みの一環として、船内向け自主改善活動（以下「WIB」と言います。）の導入を推進していくことになりました。

このWIB (Work Improvement on Board) とは、ILO (国際労働機関) が作成したWISE (中小企業自主改善活動) を船内向けに簡便にしたもので、チェックリストを使って船員全員でリスクの点検ができたり、船の設備、環境、状況にあわせて船員自らが改善策を提案でき、その対策を行うとともに、安全意識の向上を図ろうというものです。

中部運輸局では、平成28年11月11日（金）名古屋市港区空見町 太平洋フェリー株式会社の協力を得て、大型フェリー「きそ」船内において、高崎経済大学経済学部の久宗教授を講師に招き、名古屋地区の船主・船員が参加したW I B講習会を開催しました。



講演中の高崎経済大学経済学部 久宗周二教授



誤操作防止対策などをチェックする甲板部参加者

講習会では、船員等が無意識にとる行動に潜む危険を写真で改めて確認し、W I Bの意義やしくみなどを学習しました。参加者は、危険と思われる箇所に対してどういった改善ができるかを考えながら、甲板部、機関部に分かれて船内をみて回り、実際に他船の工夫や、船内の様子を見て危険となる場所への「気づき」を共有することもできました。

中部運輸局では、W I Bを使って災害防止にむけた取り組みの足がかりができたと考えています。各船主、船員の所属する船舶でも、このW I Bを広めていただき、船員災害が一つでも二つでも減少していくことを期待しています。